

大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」

■ 地域のねらい

大井川流域にある南アルプスの雄大な自然、東海道の宿場町としての歴史文化、お茶街道などの地域資源の魅力を再認識し、美しい景観形成を図るとともに、沿道に展開する多彩・多様な景観、自然、歴史、文化などの地域資源を活用した観光・交流促進を促進し、活気あふれる地域づくりを行う。

■ 活動エリアと地域資源

大井川流域に位置する国道1号、362号、473号、県道、市道、町道で富士山静岡空港と間ノ岳を繋ぐ道及び周辺地域をエリアとする。

- ・南アルプスや大井川などの雄大な景観。四季折々の見所が満載
- ・見て、飲んで、体験できるお茶の街道
- ・SLや日本唯一のアプト式鉄道で行く大井川流域の旅桜の名所、映画ロケ地の駅舎、美しい景観に囲まれた温泉などの豊富な地域資源が楽しめる
- ・東海道の難所として知られた大井川流域に育んでいる宿場町(島田宿・金谷宿)の歴史や駿河神楽などの伝統文化

■ 地域の活動推進体制

- 大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」推進協議会準備会
- ・観光協会、企業、地元住民団体 8団体
- ・道路管理者(浜松河川国道事務所、静岡国道事務所 静岡県、静岡市、島田市、川根本町)

